

## 米朝関係

トランプ米大統領、金委員長は「賢い決断」＝他の選択なら北朝鮮「壊滅」



トランプ米大統領＝15日、ニューヨーク（AFP＝時事）

【ワシントン時事】北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が米領グアム周辺への弾道ミサイル発射を保留したことを受け、トランプ米大統領は16日、ツイッターで「非常に賢く、理にかなった決断をした」と称賛した。一方で、金委員長が他の選択肢を取っていたら「壊滅的であり、受け入れられないことになっていただろう！」と述べ、けん制するのも忘れなかった。硬軟両様の姿勢を維持している。

トランプ政権が今後の対話実現について「彼（金委員長）次第だ」（ティラーソン国務長官）と強調するのに対し、金委員長は「米国の行動をもう少し見守る」と主張。米朝双方は互いに歩み寄りを一方的に求め合う展開になっている。トランプ氏、金委員長の発言で緊張の高まりは一時的に緩んだものの、対話や交渉には程遠い。



米国のマティス国防長官（左）とティラーソン国務長官＝6月21日、ワシントン（AFP＝時事）

米政権内では北朝鮮政策で対話を訴え続けるティラーソン長官に対し、マティス国防長官は14日、「米国を攻撃すれば戦争の始まりだ」と警告した。米朝間の対立が続く中、軍事的圧力を示しつつ、北朝鮮に外交解決を促している。

15日付の米紙ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）は「2長官はほとんど毎日会話し、お互いの発言も事前に共有している」と指摘。硬軟を使い分けて交渉相手に臨む「良い警官・悪い警官」の役割を分担していると分析する。



北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長＝4月15日、平壤（EPA＝時事）

2長官の連携を乱すのはトランプ大統領の不規則発言だ。トランプ氏は先週、「見たことのないような事態が起きる」などと北朝鮮への軍事攻撃を示唆し、必要以上に対立をあおった経緯がある。WSJ紙は「（2長官も）トランプ氏がツイッターで北朝鮮について何を言おうとするかは分からない」と報じた。16日の金委員長をほめるツイートも2長官が了承した内容か不明だ。

一方、北朝鮮の対応を予測するのも困難だ。金委員長は14日（日本時間）、ミサイル発射を見合わせる一方で「米国が朝鮮半島周辺で危険な妄動を続ければ、重大な決断を下す」とも強調。21日からの米韓合同軍事演習に反発し、再び挑発行動に転じる恐れもある。

2長官は17日、ワシントンで開催される日米の外務・防衛担当閣僚による安全保障協議委員会（2プラス2）に出席する。北朝鮮問題に対処するため日本との連携をさらに強化したい考えだ。（時事通信 2017/08/16-23:48）

トランプ氏「正恩氏は賢い選択をした」 対立回避を示唆  
朝日新聞デジタルワシントン＝土佐茂生 2017年8月16日22時28分

トランプ米大統領は16日、自身のツイッターで「北朝鮮の金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長は非常に賢く、非常に筋の通った選択をした。別の選択をすれば、破滅的で容認できない事態になっただろう」と述べた。米国と北朝鮮の対立が避けられたことを示唆した。

北朝鮮は8日付で、新型の中距離弾道ミサイル「火星（ファソン）12」を米グアム島の周囲に撃ち込む計画を検討していると警告する声明を発表。その後、トランプ氏がツイッターで軍事報復も辞さない考えを強調するなど威嚇の応酬が激化していた。

ところが、正恩氏は14日になって、「米国の様子をももう少し見守る」と述べ、衝突を回避することを模索する考えを明らかにした。トランプ氏の発言は、この正恩氏の動きを指すものとみられる。

ただ、正恩氏は「軍事衝突を防ぐなら、米国が先に正しい選択をして行動で見せなければならぬ」とも主張。米国は21日から韓国と合同軍事演習を行い、核・ミサイルに対抗する態勢を強化する予定。演習が始まれば、北朝鮮が武力挑発などを行う恐れもある。（ワシントン＝土佐茂生）

トランプ氏 北朝鮮は「賢い決断」 ミサイル「保留に」  
毎日新聞 2017年8月16日23時07分（最終更新 8月16日23時07分）

【ワシントン会川晴之】トランプ米大統領は16日、ツイッターに「北朝鮮の金正恩（キム・ジョンウン）（朝鮮労働党委員長）は非常に賢く、理にかなった判断をした」と

投稿した。金委員長が、米領グアム周辺への弾道ミサイル発射を保留する見解を示したことを評価した。ただトランプ氏は、他の選択肢を取った場合は「壊滅的で、受け入れがたい結果になっていただろう！」と、北朝鮮を引き続き強くけん制した。

トランプ政権は、北朝鮮との緊張を緩和するため、外交手段による解決を模索している。北朝鮮のミサイル発射保留を受けてティラーソン国務長官は15日、「我々は対話の機会を見いだすことに関心を持ち続けている。それは彼(金委員長)次第だ」と述べ、北朝鮮がさらに踏み込んだ対応をすれば、外交交渉に乗り出す考えを示唆した。

米国はその一方で、北朝鮮が強く反発する米韓合同軍事演習「乙支(ウルチ)フリーダムガーディアン」を21日から予定通り実施する。北朝鮮は「米国が朝鮮半島周辺で危険な妄動を続ければ、重大な決断を下す」と警告しており、両国とも硬軟両様の構えを崩していない。

## 金正恩氏は「賢明な決断」 グアム発射留保で米大統領 日経新聞 2017/8/16 23:09

【ワシントン＝共同】トランプ米大統領は16日、ツイッターで、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長が「非常に賢明でよく考えた決断を下した」と述べた。金正恩氏が米領グアム沖へのミサイル発射計画の留保を示唆したことを指しているとみられる。米朝の軍事衝突への懸念が高まっていたが、トランプ氏は北朝鮮が発射を強行しないと判断したもようだ。



トランプ米大統領(右)と北朝鮮の金正恩委員長＝AP

金正恩氏を称賛することで、さらなる挑発を思いとどまらせる狙いもあるとみられる。トランプ氏は「別の選択をしていれば破滅的で到底容認できなかっただろう」とも強調した。

北朝鮮メディアは15日、金正恩氏が14日、朝鮮人民軍戦略軍司令部を視察し、ミサイル発射計画を巡り「米国の行動をもう少し見守る」と述べたと伝えていた。

一方、米軍によると、訪中している制服組トップのダンフォード統合参謀本部議長は15日、中国人民解放軍の房峰輝統合参謀部参謀長らとの会談で、北朝鮮を非核化させるための圧力政策が失敗した場合に備え「確かな軍事オプション」の策定をトランプ氏から求められていると説明した。

## トランプ大統領「キム委員長は賢い決断した」

NHK8月16日 21時58分



朝鮮がグアム島周辺に向けた弾道ミサイルの発射計画について「アメリカの行動をもう少し見守る」と発表したことを受けて、アメリカのトランプ大統領は、ツイッターに「とても賢い決断を行った」と書き込みました。

これについて、ペンス副大統領は「北朝鮮の問題で進展が見られ始めている」としながらも緊張の緩和に向けた北朝鮮のさらなる行動を求めました。

北朝鮮の国営メディアは、15日、キム・ジョンウン(金正恩)朝鮮労働党委員長が、グアム島周辺に向けた弾道ミサイルの発射計画について「アメリカの行動をもう少し見守る」と述べたと伝えました。

これを受けてトランプ大統領は、16日朝、日本時間の16日夜、ツイッターに「北朝鮮のキム・ジョンウン委員長はとても賢い、よく考えた決断を行った。別の選択は、壊滅的で受け入れられないものになっただろう」と書き込みました。

トランプ大統領のツイッターは、北朝鮮が、グアム島周辺に向けた弾道ミサイルの発射の実行を見あわせたを受け止め、北朝鮮の対応を評価する考えを示したものです。

ペンス副大統領 緊張緩和へさらなる行動求める

これについてペンス副大統領は、訪問先のチリで記者会見し、「大統領がけさ認めたように北朝鮮の問題で進展が見られ始めている。しかし、より多くのことが実行されなければならない」と述べ、緊張の緩和に向けた北朝鮮のさらなる行動を求めました。

また、「北朝鮮が核・ミサイルの開発計画を放棄するまでアメリカは引き続き経済的・外交的に最大限の圧力を北朝鮮に加えていく」と強調しました。

アメリカは、来週21日から韓国で定例の合同軍事演習を行う予定にしていますが、これに北朝鮮が反発することも予想されていて、アメリカや日本など関係国は北朝鮮の動向を引き続き警戒しています。

米報道官 対話に近づかず

アメリカ国務省のナウアート報道官は、16日の記者会見でトランプ大統領がツイッターで北朝鮮の対応を評価したことで北朝鮮との対話の実現に近づいたかどうか問われたのに対して「近づいていない」と述べ、不十分だという立場を示しました。

そのうえで「北朝鮮が、核実験や弾道ミサイルの発射それに地域を不安定にさせる行為をやめれば、よい出発点にな

るだろう」と述べ、北朝鮮に対して挑発行為をやめるよう改めて求めました。

ロシア外相 米朝発言の落ち着きを歓迎

ロシアのラブロフ外相は16日、北朝鮮の弾道ミサイルの発射計画をめぐる最近のキム・ジョンウン（金正恩）朝鮮労働党委員長と、アメリカのトランプ大統領の発言に関連して、「ここにきて落ち着いたものになってきたことを歓迎する。血の気の多い人たちが冷静になってくれることを望む」と述べました。

そのうえで「北朝鮮に経済的な圧力をかけるという方策はすでにほとんど尽きている」と述べ、北朝鮮に対しては、制裁ではなく対話を通じた解決策を模索していくべきだというロシアの立場を重ねて示しました。

そして、当面の対応としてラブロフ外相は、来週21日からアメリカと韓国の合同軍事演習が予定されていることを踏まえ、北朝鮮が核実験と弾道ミサイルの発射をやめるとともに、アメリカと韓国は演習を中止するという、ロシアと中国が示している提案を関係国は受け入れるべきだと訴えました。

国連事務総長 政治的に解決されるべき

国連のグテーレス事務総長は16日、緊迫する北朝鮮情勢について記者団の前で声明を発表し、「この数十年で見たことがない緊張レベルだ。われわれは歴史の教訓をくみ取り過ちを繰り返してはならない」と述べ、60年以上前に起きた朝鮮戦争に言及して強い危機感を示しました。

続けて、グテーレス事務総長は「緊張が高まるにつれて、誤算のリスクも高まる。だからこそ、激しい言い合いを控え外交を活発化することが重要だ」と述べて、アメリカと北朝鮮の激しい非難の応酬を念頭に、双方に自制を促すとともにこのメッセージを北朝鮮をめぐる6か国協議の関係国の代表に送ったことを明らかにしました。

そのうえで、グテーレス事務総長は「この危機は政治的に解決されるべきだ。武力行使の結末は考えるだけでも恐ろしい」と述べて、アメリカと北朝鮮に対して対話を通じた解決を目指すよう呼びかけました。

米世論調査 外交的努力支持が78%

アメリカの政治専門サイト「ポリティコ」は16日、北朝鮮情勢をめぐる最新の世論調査の結果を伝えました。

調査は今月10日から14日までアメリカ国内のおよそ2000人を対象に行われ、それによりますと、北朝鮮に対し、核兵器の開発をやめさせるため外交的努力を続けることについて、「支持する」と答えた人は78%だったのに対し、「支持しない」と答えた人は9%でした。

一方、北朝鮮の軍や核関連施設への空爆を支持するかどうかについては、「支持する」が47%、「支持しない」が36%で、支持するが上回ったものの、その割合は先月行った調査に比べると下がったとしています。

またアメリカ軍の地上部隊を北朝鮮に派遣することについ

ては、「支持する」が30%、「支持しない」が55%となっています。

ポリティコは「アメリカと北朝鮮の対立が深まる中でも、北朝鮮への軍事行動を望まない国民は少なくない」と伝えています。

「北朝鮮、いつかは対話に」＝日本への打診で期待感－韓国当局者

【ソウル時事】北朝鮮の李容浩外相がマニラで6日に河野太郎外相と接触した際、対話を打診したことについて、韓国政府当局者は16日、取材に対し、「北朝鮮も挑発ばかり続けていられないだろう。いつかは対話に出るのではないか」と述べ、期待感を示した。

〔写真特集〕北朝鮮の軍勢力～知られざる実力～

北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は14日、米領グアム島沖へのミサイル発射計画実施をめぐる「米国の行動をもう少し見守る」と述べ、一定期間、保留する考えを表明。一方、北朝鮮の政府系団体は15日の談話で、日本の当局に対し「過去の清算」に臨むよう呼び掛けており、対話の糸口を探っていることを示唆した。（時事通信 2017/08/16-11:44）

中国外相「危機終わってない」 米朝問題で協力呼びかけ 朝日新聞デジタル北京＝延与光貞 2017年8月16日 21時51分

ミサイル問題をめぐって対立を深めていた米国と北朝鮮が緊張緩和に向けた発言をしたことを受け、中国の王毅（ワンイー）外相が15日夜、ロシアのラブロフ外相、ドイツのガブリエル外相と相次いで電話で協議した。王氏は21日から始まる米韓の合同軍事演習を念頭に「『8月危機』はまだ終わっていない」と述べ、対立回避に向けて協力を呼びかけた。

中国外務省が発表した。トランプ米大統領は北朝鮮問題をめぐる中国の対応について「非常に失望している」と不満を表明。14日には中国を対象に「通商法301条」に基づく調査の検討を指示した。中国側には両国をまきこんで米朝に自制を促すとともに、積極的な対応をアピールしてトランプ政権の対中批判をかわす狙いがありそうだ。

外務省の発表によると、王氏はラブロフ氏に対し「北朝鮮と米国の応酬にブレーキをかけるのが急務だ」と述べた。ラブロフ氏は「米韓軍事演習で再び情勢が悪化するおそれがある」と懸念を示し、外交による解決に協力する姿勢を見せた。ガブリエル氏は「関係国は欧州の悲惨な歴史の教訓をくみ取るべきだ」と訴えたという。（北京＝延与光貞）

米軍トップ、中国北部戦区の訓練視察＝対北朝鮮で連携訴え

【ワシントン時事】中国を訪問している米軍制服組トッ

プのダンフォード統合参謀本部議長は16日、東北部の遼寧省瀋陽を訪れ、中国人民解放軍北部戦区の軍事訓練を視察した。北部戦区は中国の五つの戦区の中で北朝鮮に最も近い。房峰輝・連合参謀部参謀長の招待を受けた視察という。

ダンフォード議長はその後、記者団に対し「中国が国連安保理の北朝鮮制裁決議を履行すれば、朝鮮半島の非核化に向けて前進する環境が整う」と述べた。核・ミサイル開発を続ける北朝鮮問題で米中が連携する必要性を訴えた。

(時事通信 2017/08/17-00:10)

### 米軍制服組トップ 中国に「北朝鮮への圧力強化必要」

NHK8月17日 5時30分

アメリカ政府は、北朝鮮の対応などを協議するためおととい中国で軍の幹部と会談したアメリカ軍のダンフォード統合参謀本部議長が、中国側に北朝鮮への圧力を強化する必要性が緊急に高まっていると伝えていたことを明らかにしました。

北京のアメリカ大使館は16日夜、アメリカ軍のダンフォード統合参謀本部議長の中国の訪問に関して声明を発表しました。

それによりますと、15日、北京で中国軍の房峰輝統合参謀部参謀長と会談したダンフォード議長はグアム島周辺に向けた弾道ミサイルの発射計画を検討していると発表した北朝鮮への対応をめぐり「アメリカは中国が北朝鮮に対し圧力を強化する必要性が緊急に高まっていると考えている」と伝えたということです。

声明ではダンフォード議長が16日、中国側の案内で北朝鮮との国境地帯も管轄する東北部・瀋陽の「北部戦区」を訪れたとし、両国の軍どうしの交流についても明らかにしました。15日の中国国防省の発表では会談では両国の軍どうしの関係を深めていくことで一致したなどとしていましたが、北朝鮮への対応をめぐるやり取りの内容は明らかにされていませんでした。

### 米国務省、北との対話「非核化取り組みが必要」

読売新聞 2017年08月16日 14時10分

【ワシントン＝大木聖馬】米国務省のナウアート報道官

#### キムジョンウン

は15日の記者会見で、北朝鮮の金正恩・朝鮮労働党委員長が米領グアム周辺への弾道ミサイル発射について「米国の行動をもう少し見守る」と述べたことに関し、「北朝鮮が非核化に向けて真剣に取り組んだ時に、金正恩氏と対話をしたい。まだ我々は（真剣な取り組みを）見ていない」と述べた。

グアムへの弾道ミサイル発射を一時的に控えるだけでは、対話の条件にはならないとの認識を示したものだ。

ナウアート氏は「外交が問題を解決できると信じている」

と強調する一方、「対話に至るまでに、北朝鮮は真剣な措置を講じる必要がある」と述べ、さらなる対応を求めた。

ティラーソン米国務長官も15日、「我々は引き続き対話につくための方法を模索することに関心があるが、それは彼（金氏）次第だ」と述べた。ティラーソン氏とマティス国防長官は13日に連名で米紙に寄稿し、対話の条件として、北朝鮮が核実験やミサイル発射などの挑発行為を即座に停止することを挙げた。

### 米国務省 北朝鮮との対話には非核化の行動が必要

NHK8月16日 11時46分



北朝鮮が、グアム島周辺に向けた弾道ミサイルの発射計画について「アメリカの行動をもう少し見守る」と発表したことに関連して、アメリカ国務省は、北朝鮮と対話する用意があるという立場を改めて示す一方、まずは北朝鮮が朝鮮半島の非核化に向けた行動に踏み出す必要があると強調しました。

北朝鮮の国営メディアは15日、キム・ジョンウン（金正恩）朝鮮労働党委員長が、グアム島周辺に向けた弾道ミサイルの発射計画について「アメリカの行動をもう少し見守る」と述べたと伝えました。

これに関連してアメリカのティラーソン国務長官は15日、記者団に対して「われわれは、北朝鮮との対話に至る道を見つけることに引き続き関心を持っている。しかし、その実現はキム・ジョンウン委員長にだ」と述べ、北朝鮮の行動を注視する考えを示しました。

また国務省のナウアート報道官は、15日の記者会見で「われわれは北朝鮮と対話するのをいとわない。しかしまずは北朝鮮が真剣な行動を取らなければならない」と述べました。

さらにナウアート報道官は、北朝鮮がグアム島周辺に向けた弾道ミサイルの発射計画を取りやめるだけでは対話には応じられないとしたうえで、北朝鮮は朝鮮半島の非核化に向けた行動に踏み出す必要があると強調しました。

### 米国 「対話は正恩氏次第」…国務長官、歩み寄り求める

毎日新聞 2017年8月16日 10時45分(最終更新 8月16日 11時14分)



北朝鮮に関する質問に答えるティラーソン米 국무長官＝米ワシントンで15日、AP

【ワシントン会川晴之】ティラーソン米 국무長官は15日、緊張が続く北朝鮮問題に関し「我々是对話の機会を見いだすことに関心を持ち続けている。それは彼次第だ」と述べた。引き続き、外交手段による解決を模索する考えを強調するとともに、金正恩（キム・ジョンウン）朝鮮労働党委員長が歩み寄りを示す必要があるとの見解を示した。国務省で記者団の質問に答えた。

また国務省のナウアート報道官も15日の記者会見で、交渉開始のためには「北朝鮮が重要な一歩を踏み出すべきだ」との考えを示した。ティラーソン氏は、これまでも北朝鮮が核・ミサイル実験停止の意向を明確に示した場合は「交渉の席につく用意がある」と述べていた。

北朝鮮は15日、米領グアム周辺への弾道ミサイル発射実験について金委員長が「米国の行動をもう少し見守る」「米国がまず正しい選択をして行動で示すべきだ」と述べたと伝えるなど、衝突回避の立場を見せ始めている。一方で「米国が朝鮮半島周辺で危険な妄動を続ければ、重大な決断を下す」とも警告しており、米国の出方を見極める構えを見せている。

ただ米国は、北朝鮮が強く非難する米韓合同軍事演習「乙支フリーダムガーディアン」を予定通り21日から実施すると14日に表明。北朝鮮と同様に硬軟両様の姿勢を崩しておらず、軍事演習に対する北朝鮮の対応がカギになっている。

北朝鮮の核開発を止める1994年の「米朝枠組み合意」交渉に関わったジョエル・ウィット元国務省北朝鮮担当官は「北朝鮮が核・ミサイル実験を続ける間は、米国が交渉の席につけないのと同様に、北朝鮮も米韓軍事演習中は交渉に応じることはできない」と主張。一方で、軍事演習を停止すれば「米国は、北朝鮮との重要な交渉カードを失う」との見方もあり、米国内で意見が交錯している。

## 米 국무長官「対話実現、金委員長の対応次第」

日経新聞 2017/8/16 9:50

【ワシントン＝永沢毅】ティラーソン米 국무長官は15日、北朝鮮の金正恩（キム・ジョンウン）委員長がグアム沖へのミサイル発射を保留する構えを見せていることについて「我々是对話につながる道を見いだすことに関心を持ち続

けている」と語った。そのうえで「(対話の実現は) 金委員長の対応次第だ」と述べた。国務省で記者団に語った。

一方、国務省のナウアート報道官は15日の記者会見で、外交手段による解決を強調。対話の実現に向けて北朝鮮は「交渉の席に着くのに前向きだということを示すいくつかの真剣な兆候」を示す必要があるとの認識を示した。ティラーソン氏は14日の米紙への寄稿で、核実験やミサイル発射の即時停止がその兆候になりうるとの見方を示している。

しんぶん赤旗 2017年8月17日(木)

## 米朝関係 「対話に至る道」に関心 米 국무長官 改めて外交解決の姿勢

【ワシントン＝池田晋】ティラーソン米 국무長官は15日、北朝鮮が米領グアム周辺に向けたミサイル発射計画について「米国の様子を見守る」と述べたことを受け、「われわれは対話に至る道を見いだすことに関心を持ち続けている」と記者団に述べ、改めて外交解決を目指す姿勢を示しました。

また、「対話は彼（金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長）次第だ」とも述べ、北朝鮮側が交渉に入る姿勢を示す必要があるとの考えを示しました。

国務省のナウアート報道官も同日の記者会見で「われわれは外交が（北朝鮮核問題の）解決策だと信じている」と強調する一方、北朝鮮がグアムへのミサイル発射を保留しただけでは対話開始の条件としては不十分で、「朝鮮半島非核化の意図」を示す必要があるとの認識を示しました。

しんぶん赤旗 2017年8月17日(木)

## EU安保委 外交努力で合意

【ベルリン＝伊藤寿庸】欧州連合（EU）の政治安全保障委員会は14日、緊張の高まっている北朝鮮情勢について「緊張緩和の緊急の必要性」を指摘し、外交努力を強めることで合意しました。

EU加盟28カ国の共通外交・安全保障政策を実行する責任者であるモゲリーニ外相が、マニラでのASEAN地域フォーラム（ARF）から帰国して招集。大使級の同委員会は、各国の外相で構成する外相理事会に政策を勧告し、実行を監督する機関です。

声明は、北朝鮮の挑発を批判するとともに、「軍事的手段ではなく、平和的手段での朝鮮半島の非核化」こそ「永続的平和の唯一の道」だと指摘。EUとして、韓国、米国、中国、ロシア、日本、および北朝鮮に「メッセージを伝え、手を差し伸べる外交努力を強める」ことで合意したとしています。「国際社会の団結を維持することが非常に重要だ」と強調しています。

EUが、「北朝鮮と、韓国を筆頭とする国際社会との間の信頼性と意味のある対話へのプロセスを支持する用意があ

る」としています。

声明はまた、モゲリーニ外相が、マニラで康京和（カンギョンファ）韓国外相と会談した際、「核問題をめぐる交渉でEUが獲得した技術的経験」を提供する用意を伝えたことにも触れています。EUは、イランの核開発の中止で合意した2015年の核合意に参加しています。

### 米側が譲歩するか見極めるという意味...辺真一氏

読売新聞 2017年08月17日 00時55分

日本総合研究所会長の寺島実郎氏と「 코리아・レポート」編集長の辺真一氏が16日、BS日テレの「深層NEWS」に出演し、米朝関係について議論した。

寺島氏は「北朝鮮が発射した弾道ミサイルが、間違っても米領グアムにでも落ちない限り米国は動かないだろう。ただ米国は、軍事攻撃から金正恩体制を転換するまでのシナリオは鮮明に描いていると思う」と指摘。

辺氏は「金正恩氏（朝鮮労働党委員長）の『米国の行動を見守る』との発言は、米側が譲歩するか見極めるという意味。米国が（21日から始まる）米韓合同軍事演習を縮小するなどの行動に出ない限り、弾道ミサイルを発射するだろう」と話した。

### 中四国9県でJアラート訓練＝北朝鮮ミサイル計画－総務省消防庁

総務省消防庁は16日、北朝鮮による米領グアム周辺に弾道ミサイルを発射する計画公表を受け、上空を通過する可能性のある島根、広島、高知各県を含む中国・四国地方9県の全市町村で、18日にJアラート（全国瞬時警報システム）の訓練を行うことを全都道府県に通知した。

Jアラートは、人工衛星を利用して緊急情報を住民に迅速に伝えるシステム。訓練では、内閣官房が同日午前11時に試験情報を配信。市町村に設置された受信機が作動し、防災行政無線などで自動的に試験放送が流れるかどうかを確認する。（時事通信 2017/08/16-19:05）